Table 1

取扱説明書

▪手巻き式腕時計

●手巻き式腕時計は、定期的にクラウンを回しておかなければなりません。回す方向は時計回りです。左手に腕時計を表向きに持っている場合には、クラウンを右親指と人差し指で時計回りにまわしてください。ゆっくりと何度も回し続けるのがこつです。ある程度まで回したら、クラウンを戻して時計をそのままご使用ください。

●クラウンを回していると、だんだんと回しづらくなってきます。だいたい5-6回、回した後は、それ以上回すのはおやめください。内蔵のスプリングが損傷する恐れがあります。

●手巻き機械式腕時計の場合は、腕時計を腕にご着用する前に巻いてご使用ください。ご着用したまま回すと、回しづらいだけではなく、無理な力が入って、思わぬ損傷を与え時計の寿命が短くなる可能性があります。

●手巻き式腕時計をお持ちの方は、毎日巻く習慣をつけてください。朝に巻くのが良いといわれています。その理由は、ちょうど時計が1日中動き続けてくれるからです。
そうすることで、毎日より正確な時間を維持することができるようになります。

1

▪自動式(セルフ巻き)

●セルフ巻きとは、ご自分でクラウンを巻かなくとも、内蔵されている機械式があるため、基本的には巻く必要はありません。ただし、ある一定期間過ぎたあとにパワー不足になってきた際には、手巻き式腕時計と同じくクラウンを回すことでご使用頂けるものとなっております。その際には、手で巻いた分でジャンプスタートを行うことができるため、何度も巻かなくとも、その後は機械式が自動的に巻いてくれます。

●親指と人差し指でクラウンを時計回りにまわしてください。ゆっくりと何度も回し続けるのがこつです。ある程度まで回したら、クラウンを戻して時計をそのままご使用ください。

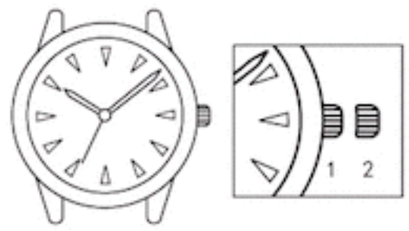
●クラウンを回していると、だんだんと回しづらくなってきます。だいたい10-15回、回した後は、それ以上回すのはおやめください。内蔵のスプリングが損傷する恐れがあります。

▪モデルA: 2ポジションクラウン

●時間調整にも使用します

●クラウンをポジション2へ移動させたら、クラウンを時計回りに回して針を調整してください

●クラウンをプッシュして、ポジション1に戻します



2

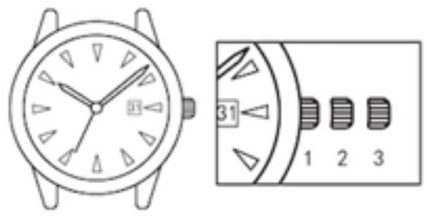
▪モデルB: 3ポジションクラウン

●時間調整にも使用します

●クラウンをポジション3へプルして移動させます

●クラウンを時計回りに回して針を調整してください

●クラウンをプッシュして、ポジション1に戻します



●クイックな日付変更方法　（スタンダード）

●クラウンを真ん中までプルします

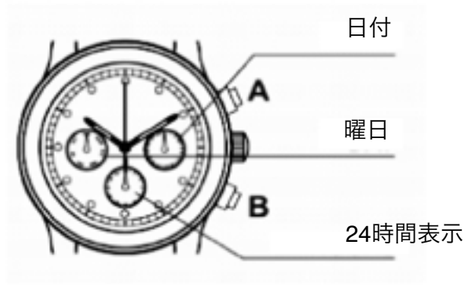
●クラウンを時計回りに回して日付を調整してください

●クラウンをプッシュして、ポジション1に戻します

▪モデルC: 24時間表示& 日付・曜日表示

●ボタンAを押して曜日を変更します

●ボタンBを押して日付を変更します



3

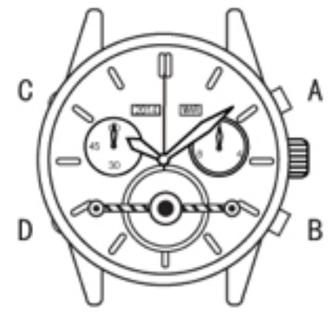
▪モデルD: カレンダー& 日付・曜日表示

●ボタンAを押して月を調整します

●ボタンBを押して日付を調整します

●ボタンCを押して年を調整します

●ボタンDを押して曜日を調整します



▪モデルE: 24時間表示& 日付・曜日表示

●ボタンAを押して日付を調整します

●ボタンBを押して月を調整します

●ボタンCを押して曜日を調整します

4